



鹿児島県看護連盟だより Kagoshima Nursing Federation

かんめい れんめい

No.61

2018.Octorber

特集

看護師も働き方改革 スタッフ満足度上昇中！

～ PNS と 12 時間夜勤の相乗効果？～

－ 済生会川内病院 －

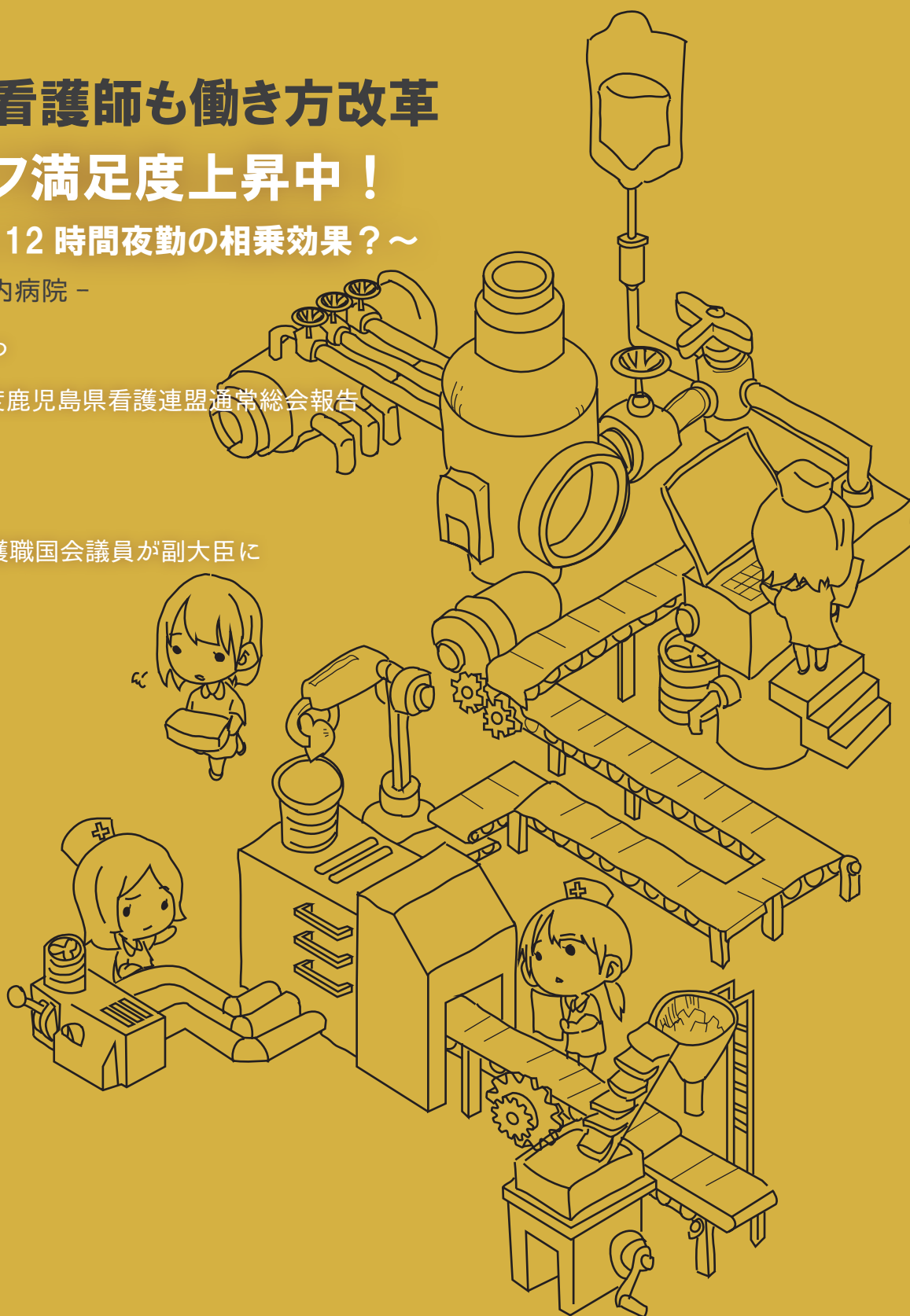
会長あいさつ

平成 30 年度鹿児島県看護連盟通常総会報告

新役員挨拶

研修報告

祝 2 人の看護職国会議員が副大臣に



♡ 会長あいさつ



「石田まさひろを応援する会」 1万人鹿児島ネットワーク にご参加を！

平成30年9月吉日

鹿児島県看護連盟 会長 徳永 龍子

鹿児島県連盟会員の皆様、平成最悪の豪雨災害をもたらした梅雨明け後、猛暑・台風と続いております。心からお見舞い申し上げます。そんな中でもお元気でご活躍、お過ごしでいらっしゃいますか。

6月17日の通常総会にご参加いただいた方々には心から感謝申し上げます。参加者は、過去5年間で最低、例年の約半分の193名でしたが、議題をすべて承認いただきました。

残念だったのは、青木比登美先生の講演を離島や高齢者人口の多い地域の方に聴いていただけなかった事です。国内外と多忙な中、早朝から見守りロボットや通信機器を三人でレンタカーに積み、皆様に実際の見守り場面を体験し見てほしいと福岡から雨と降灰の中、来鹿いただきました。地域包括ケアシステムとは、死ぬ為だけに病院に入院しなくてよい、今いる場所で最期のその時まで生活できる仕組み。「孤独死」や「見捨て死」をさせないためのIoTやAIを活用しての家庭での見守りシステムです。遠距離介護で両親を自宅で看取った私の胸にずしりと来た講演を、皆様と共有したいと思い招聘しました。

がん治療で欧州学会世界一の地位から、まつお在宅クリニック開業の松尾勝一院長は、「緩和病棟でできることは全て在宅でできるが、在宅でできることで緩和病棟ではできないことがある」の言葉で起業した看護師の青木比登美先生がその経緯を講演されました。IoTやAIを活用した地域包括ケアシステムは、体調管理も普段の生活もインターネットで繋がる安心サポートと言えます。講演終了後に希望者の方には、万が一の遠隔モニタリング、コールセンターへ

のロボットとの会話などの体験や説明を聞きました。遠隔診療や衣食住の情報共有などを見た参加者の方は、「一人暮らししているが希望が持てた。地域包括ケアが実現できる」と喜んで話されました。

一方、選挙まで後1年なのに参加者の少なさに危機感を持ったのは私だけでしょうか。

昨年、草間朋子日本看護連盟会長は「力強い組織とは、得票数を多く獲得できる組織」と講演。鹿児島県は、「石田まさひろを応援する会」の締切まで後2カ月あると呑気なのか、余裕なのか、スローペースで1万人のゴールが見えません。皆様に信頼し12月末を目指し、「石田まさひろを応援する会」1万人の鹿児島ネットワークの目標達成のため応援の輪を、会員挙げて広げましょう。会長、幹事長は、支部長さん方と協働して施設等に普及広報して回っています。選挙は、「一人ではなにもできない、お陰様」です。会員、家族、友人、知人の一人ひとりの票を積み上げでしか多い得票数は獲得できません。勇気を出し、会員が一步踏み出し応援しての声かけをして行きましょう。

8月18日は、石田昌宏議員との意見交換の研修会を認知症ケア研修会と同時実施しました。また、10月28日の聖路加国際大学名誉教授の岩井郁子先生の看護記録研修会は、今年で最後です。2016年日本看護協会看護業務基準に、今回改正の看護記録を加えて特別講演をしていただきます。12月8日は、在宅と特定行為シンポジウム、来年2月2日はスキンケア研修会を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平成 30 年度鹿児島県看護連盟通常総会報告

平成 30 年 6 月 17 日（日）に鹿児島県看護連盟通常総会が、総会出席者 193 名 委任状提出者 2636 名 総数 2829 名により鹿児島県市町村自治会館で執り行われました。

総会に先立ち、物故会員への黙祷を全員で行いご冥福をお祈りいたしました。その後徳永龍子会長挨拶、来賓祝辞では鹿児島県看護協会会長 田畑千穂子様、自由民主党国会対策委員長・自由民主党鹿児島県支部連合会 森山裕様よりご挨拶を頂きました。次に鹿児島県看護連盟会長表彰が行われ、今年度は 10 名が表彰され、表彰者を代表し中重敬子様より謝辞が述べられました。後半、総会の審議に入りました。議長団選出、平成 29 年度の活動報告・監査報告等の承認に引き続き、提出議題、平成 30 年度のスローガン、事業計画・収支予算・規約改正案、役員改選等すべて承認されました。

平成 30 年度 事業計画

重点目標

1. 強い組織力の強化・拡大
2. 政策実現力の強化
3. 会員の福祉の充実

強い組織力の強化・拡大

1. 看護連盟と看護協会との連携協働 他県との情報の共有化と連携
2. 看護連盟活動の周知徹底 現場の課題への対応
機関誌「かんごれんめい」年 3 回発行やホームページで広報活動
看護連盟や看護協会の研修会や会合での看護連盟事業広報
3. 会員数の増加（協会加入者の 30%目標 連盟会員数 3500 名に）
学生会員 70 名、賛助会員 70 名目標 産休育休者や退職者の会員継続の推奨
4. 県連盟の規約等に基づいた効率的運営、健全財政運営
5. 九州ブロックの活性化及び県支部活動の強化
県支部役員やリーダーの意識強化
九州ブロック協議会、ポリナビ研修会の参画と活用
6. 若手会員の育成 青年部員の拡充と青年部活動の活性化

政策実現力の強化

1. 看護職国会議員の選出への支援
「石田まさひろを応援する会」県目標数 1 万人
4 名の看護職国会議員の名前と活動状況の周知
2. 看護政策の実現
「現場の声」を集約し、看護協会と連携し行政や議員へ要望書を提出
3. 看護を理解する国会議員、地方議員の確保と支援
県選出国会議員、地方議員や団体との連携及び交流

会員の福祉の充実

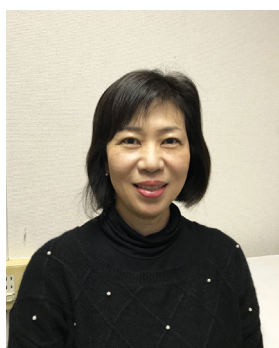
1. 災害への対応（日本看護連盟、県連盟内規に基づく対応）
2. 福利厚生への対応（日本看護連盟、県連盟内規に基づく対応、表彰への対応）
3. 会員の安全の保証（コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動の情報提供）



新役員紹介

平成 30 年度 5 名の新役員さんが加わっています。

①。趣味や今はまっていること ②。鹿児島のおすすめスポット ③。新役員になって感じたこと
をご挨拶として紹介いただきました。これから一緒に「笑って楽しく本気で」活動していきましょう。
どうぞ宜しくお願いいたします。



原田 昌子（副会長）

鹿児島厚生連病院

①。家のお風呂をリフォームしました。テレビを見ながらゆっくりお風呂で過ごす時間が一番の楽しみです（笑）

②。いちき串木野市の羽島にある薩摩藩英国留学生記念館のことをご存じでしょうか。今から 150 年前わが薩摩藩から 19 名の若者たちが小さな船で英国に旅立った場所です。なぜか今の幸せを実感し、勇気をいただけます。その帰り道、近くにあるカネヨの醤油ソフトクリームが最高です。プラス 50 円であずきとトッピングしてください。

③。連盟役員となり、まさかの 11 年目そして副会長なんて無理！とまず感じました。しかし来年は看護職にとって大切な選挙を控えており、ゴネている時間はありません。看護・介護のニーズが高まる中、看護の現場では問題が山積しております。そのため私たちの代表が国政の場で活動を積み重ねる必要があります。微力ではありますが、皆様のご指導を賜りながら貢献していきたいと思っております。



今吉 和子（幹事長）

鹿児島県看護連盟

①。ゴルフかな！スコアは別として、クラブを気持ちよく振りぬいて良い音がした時、長いパットが入った時のスカッとした気分、良いストレス解消になっています。時にはコースサイドの草花を摘み、松ぼっくりやどんぐりを拾いながらコースを回ります。今は、アプローチがうまくなることと 3 パットしないことを目標にしています。

②。やっぱり海に浮かぶ桜島。山育ちの私は海にあこがれがあります。県外の友人、知人が来れば仙巖園に案内し、錦江湾と桜島を自慢します。どこから見る桜島もそれぞれに趣がありいいですが、なんといっても南国カントリー 16 番ホールから見る錦江湾と桜島は雄大で素晴らしいです。天気良ければ開聞岳や霧島連山も見渡せます。

③。50 年前、「看護婦です」と胸を張れないほど社会的評価の低かった（もちろん賃金も）ことを思い出します。諸先輩方の努力で国会へ代表を送れるようになり、少しずつ認められるようになってきましたが、まだまだ責任と業務内容に見合った評価とは言えません。後輩の皆さんが働き甲斐を感じ、夢をもって働けるように、看護連盟の活動をしていきたいと思います。



森 さおり（幹事）

いづろ今村病院

①。スポーツテレビ観戦です。今はサッカーワールドカップです。鍛え抜かれた身体・精神、すごいと思います。好きなことが仲間と出来て、どんなときもふり返り対策立て次の試合に立ち向かう、いつものポジションじゃなくても必要とされている役割をこなしていく。精神の自立。素敵。爪の垢を私にも分けて頂きたい位です。

②。肉好きの私は焼き鳥が大好きです。「ぼんじり」「皮」「手羽先」は外側と中身の食感の違いも絶妙ですし、レバー嫌いでしたが食べられるようになりました。焼鳥屋さんは多く点に入りますので、自分の好きなお店を見つけてみてください。

③。超高齢社会の中で地域包括ケアシステムなど生活圏での効率的な医療・介護が活用出来る看護士の役割が期待されています。働く環境の厳しさは変わらない状況ですが、現場の声が看護政策に反映され働きやすい、やりがいのもてる職場になれるように各支部の皆様と連携してご意見を聞きながら取り組んで行きたいと思います。宜しくお願いいたします。



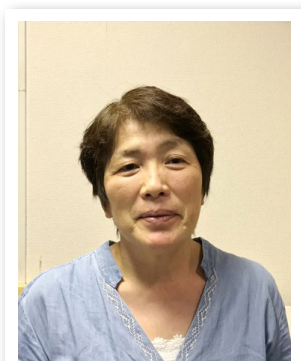
前永 和枝（鹿児島第1支部長）

米盛病院

①。4月から体力作りのためにMBC学園でバドミントンを始めました。結構思っていたよりも本格的な指導を受けており、甘く見ていた私は右膝に水が貯まりました。でも、折角始めた運動ですので、ほどほどに頑張ります。

②。自分へのご褒美として又何かのイベントやお祝い事に利用しているフランス料理の本格派「ル・ガヴローシュ」がお勧めです。本当に美味しくてフアンになりました。またとても暖かみのある奥様が、本当にご主人が作る料理を愛しているのが良く分かりますよ。

③。まだ支部長として活動らしい活動をしておりませんので、何が出来るか分かりませんが、一人でも多くの方にあなたの1票が「大きな看護の力」になるという事を伝えていきたいと思っています。その活動が楽しく出来る連盟本部だと思います。



内山 政子（鹿児島第4支部長）

今村総合病院

①。体を動かすことが好きなので、バレーボールをやっています。決して上手ではありませんが、全日本の選手をイメージして、週に2回の練習に励んでいます。仕事のストレスを大きな声を出したり、汗をかいたりすることで解消しています。スポーツ観戦も大好きです。

②。大隅の雄川の滝です。大河ドラマ「西郷どん」のオープニングにも使われています。壮大な滝というイメージではないのですが、神秘的な印象を受ける滝です。マイナスイオンが押し寄せてくる感じです。今は、道路も整備されてかなり便利になっているようです。こういうところで一日、おにぎりを食べながらボーッとしたいと感じるところです。

③。これまでも、連盟の施設活動員として連盟の活動には関わってきましたが、今回は大役となるため、気を引き締めていかなければと感じています。前任の支部長の活動を引き継ぎ会長並びに諸先輩方の指導を受けながら連盟の役割についての普及活動に努めたいと思います。若い人達への連盟活動の理解や選挙活動につながるような活動ができればと考えています。宜しくお願いします。

睡眠セミナー

無料サービスのご案内

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛

良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊—— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ ——＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法

- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

東洋羽毛九州販売株式会社 鹿児島営業所

〒890-0063鹿児島市鴨池1丁目64-25 TEL:099-813-5950 FAX:099-813-5953

0120-881125 URL <http://www.toyoumo.co.jp>



看護師も働き方改革

鹿児島県の事例を紹介いたします！



稲本清美
広報委員長

寺下みゆき
看護師長

寺脇佐代子
看護部長

スタッフ満足度上昇中！

－ PNS と夜勤 12 時間の相乗効果？－

済生会川内病院は薩摩川内市の中心部に位置する病床数 244 床の総合病院です。今年度のワークライフバランス推進事業において看護協会カンゴザウルス賞も受賞し、その内容について今注目されています。そこで実際どのような取り組みをされているのか同病院の寺脇看護部長と寺下看護師長にお話を伺ってきました。



看護をしている気がしない。



PNS¹⁾ やシフト改変等はどうな経緯で導入することになったのですか？



寺下みゆき
看護師長

病棟編成もあり、所属する外科病棟に消化器病棟も入ってきて稼働率がすごく上がっていました。それまでの忙しさよりもさらに倍増したような感じで。そんな頃に、スタッフと話をする中で中堅看護師の方から「看護している感じがしません」とか「ただ仕事を時間内に終わらせようとしているだけ」といった話を聞くようになってきました。それが 1 人とかという感じではなかった。これはいかな、と（笑）
実はその時、まだ師長になって 2、3 年目で、スタッフにこんなことを言わせてはいけないと思いました。

1) Partnership Nursing System（パートナーシップ・ナーシング・システム）の略称。2 人の看護師が安全で質の高い看護ケア、担当業務を協働し提供する看護体制のこと。



ちょうどその頃に協会の PNS の研修も受講していたんですね。
これはうちの病棟でも、もしかしたらいけるんじゃないかなと思って。そして
すぐ相談にいったら、部長もちょうど考えていたみたいでした。

当院の小児科等ではもともと 2 人でチェックを行う業務もたくさんありましたし、安全性とかハラスメント対策につながるとも聞いていましたので、もちろん「看護」ということもあるのですが、「管理」的な側面からも PNS の導入を考えていました。それで話を（寺下師長から）聞いたときに「やりなさい！」と（笑）



寺脇佐代子
看護部長

その後、福井大学へ PNS の件で訪問したときに、そこでは 12 時間夜勤も取り入れていました。自分としては PNS も導入したいし、看護協会が推進していることもあって後々は 12 時間夜勤も取り入れたい。
福井の方にお聞きすると「どうせ変えるなら一緒に良い」というアドバイスもあって同時に取り入れることにしました。それが平成 29 年 4 月からですね。

残業時間が減ってきています。

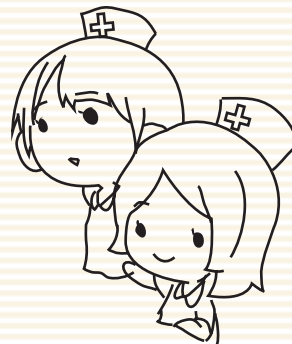


現在、導入後 1 年半ほど経っていますが何か変化はありましたか？
実際に病棟スタッフの方にお話を伺うと

休みの計画を立てやすくなった。

今は他の病棟へは移りたくない。

などの肯定的な声が多くありました。

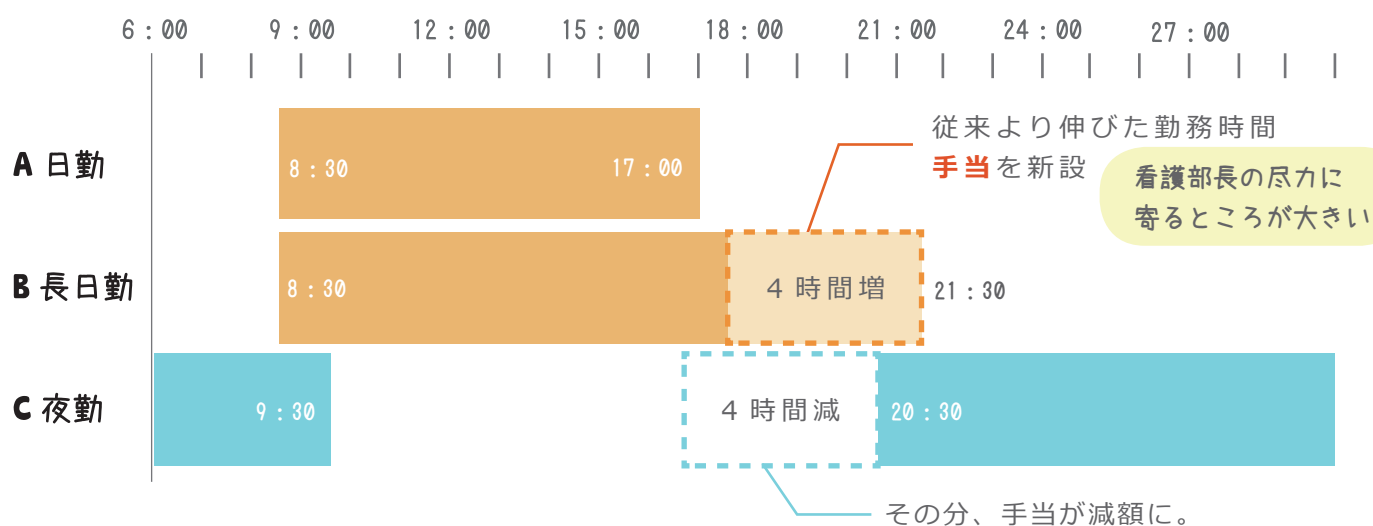


本当ですか？（笑）

まあ 1 番は、一月当たりの平均残業時間が減ってきていますね。
約 4 時間は減ってきています。数字だけではなく介護福祉士さん達からも「最近、看護師さん達残ってませんね」と言われたりしますので、実際に減ってきているんだと思います。
スタッフが早く帰れるということは、私も早く帰れるということなので、それは身をもって感じています（笑）



シフトについてのイメージ図



原則、A-B-Cのサイクルでシフトを組んでいる

とにかく基本に忠実に。12時間夜勤の評価はこれから。

Q 超過勤務も減少傾向になり、スタッフの満足度もだんだんと上がってきているように感じます。何かポイントがあったのでしょうか？



寺下みゆき
看護師長

PNSになじんできた、慣れてきたということもあるかもしれません。導入の時も、とにかく「基本に忠実に」を心がけていました。仕事が終わった時に2人が同じ情報をもってねということは何度も言ってたと思います。

コミュニケーションが増えたという声もよく聞くようになりましたね。パートナーから情報をもらうことで自分にも業務上のメリットが大きいとスタッフそれぞれが感じてきているんだと思います。



寺脇佐代子
看護部長

12時間夜勤については、分かりません（笑）

16時間夜勤のまま PNS 導入だけでも同じような成果が出ていたような気もしています。ただこれについては、他病棟が16時間夜勤のまま PNS 導入を今年度から始めていますので、今後そこから何か見えてくるかもしれません。

導入当初は「きつい」との声も。

Q 逆に導入時には苦労もあったのでは？



ありましたよー（笑）

始めて2カ月の6月くらいには、スタッフからの「きついです」とかの感想が出始めていましたからね。やっぱり21時30分までの長日勤がきついみたいでした。

その時、
（寺下師長が）「もう止めます」って毎日のように言いに来てましたね（笑）

私としては、3カ月くらいまではスタッフにとって一番抵抗感のある時期だと思っていたので、あと「1カ月頑張ってみて。大丈夫！」と声掛けていました。実際は内心ドキドキしてましたけど（笑）



これまでも20時30分とか21時までとか残業があったりしましたので、時間としては、そこにあと1時間ほど多いくらいです。もちろん、残業と21時30分までの勤務時間というのでは、心の持ち様が違うと思いますが...
ただきちんと21時30分に業務が終わるようにしないと意味がありませんので、業務整理や人員配置を増やして、だんだんとスタッフの声も変わっていったと思います。

休みも取りやすい職場環境を目指して。

Q 今後の課題や展望があれば教えてください。



リフレッシュ休暇を取るようになりました！

これまでは、病棟の有休取得はあまりできていませんでしたので。

数十年前までは、病院の制度として「リフレッシュ休暇」が有休とは別にありましたが、取れる部署が少なかったため、今はなくなっています。ワーク・ライフ・バランスの意味も含めて、実際は有休なんですけど5日から7日間位の連続休暇を「リフレッシュ休暇」として取るようになりました。



あとはこれを部長が制度化してくだされば（笑）

はい（笑）
そのためには、病院から（休暇の）実績を出しなさいと言われていいますので、今はまさに休みまでしっかり取れる環境を作っているところですね。

お忙しい中、貴重なお時間どうもありがとうございました。（了）



県庁及び自民党県連へ「平成31年度県予算に関する看護関係4要望書」提出

鹿児島県看護協会、鹿児島県看護連盟及び看護教育協議会は、協働して平成31年8月7日要望書を提出しました。また、自民党県連の県議会議員及び衆参両議院の議員の方々に看護政策を国政及び地方議会等で提言いただくため意見交換会を今年も実施しました。昨年要望した、夜間看護手当の20年ぶりの値上げ、看護職専任教員養成講習会の4月～12月までの実施に結びつき、まず感謝を述べた後に要望をしました。

- ①看護基礎教育制度改革の推進、専任教員養成講習会の継続実施
准看護師研修会及び進学支援による看護の質の向上
- ②看護職員の確保及び定着支援のための働き方改革推進
- ③地域包括ケアにおける統括保健師の配置促進など看護供給体制の構築
- ④特定行為に係わる看護師の研修制度の推進などです。

(今吉和子)

6/17 (日) 地域包括ケアにおけるIoT技術とAIロボットを使った連携と取り組み



臨床の現場で強く感じた「患者さんを家へ帰したい」という思いから始まり、遠隔からでもきめ細かいサービスができるようにと民間会社で電話交換手としての経験を積み、現在、IoT（インターネットのネットワークを用いた様々なシステム）を活用

した在宅医療事業を展開する事業を起こした青木さんの講演。写真のような見守りロボットを活用して独居高齢者とのコミュニケーションを図ったり、センサーを用いて遠隔地からでも転倒したかどうか評価できるシステムを共同開発したりと新しい在宅医療の形に挑戦しています。事業の立ち上げは2016年とまだ日は浅く、今後の動向が注目されます。

(嶋谷圭一)

看護研究や症例検討だけじゃない！日々のお仕事にもきっと役立つ。6/30 (土) 「伝える力再開発ワークショップ」

昨年度に引き続きまして、2回目開催となった今年度も多くの方に参加いただきまして本当にありがとうございました。1日を費やす研修となっていますが、最後まで活発なフィードバックや意見交換など行っており運営側にとっても学びになっています。

パワーポイントの使い方を知りたい、グラフの効率的な作り方を知りたい等のコメントも新たに頂きました。今後とも機会がありましたら、今回の意見を踏まえながら次の企画に活かしていきたいと思います。

(嶋谷圭一)



7/21 (土) 鹿児島県ポリナビワークショップ ×リーダー研修Ⅲ

参議院議員の中で、高齢者の定義を「介護保険で要支援以上の認定を受けた人とするのはどうか」という案が出ていることを知りました。実際支援を受けている高齢者は2割程度であることから、年齢による高齢者という概念を捨て“元気な高齢者は若者”という考えには納得することができました。働き方改革にはマイノリティの改革が必要なんだと思います。

パールランド病院 吉松昌代看護部長の講演では、認知症の理解・知識を深めることでケアが楽しいものになることを改めて感じることができました。

(稲本清美)



8/18 (土) フレッシュナース研修

8月18日(土)『～なりたい自分・10年後成し遂げたいこと～』をテーマにフレッシュナース研修会が行われました。若手看護師を対象に石田まさひろ参議院議員と認知症看護認定看護師の竹迫香奈先生をお迎えし、参加者も93名で活気ある研修会となりました。

石田まさひろ議員は、看護師になろうと思ったきっかけや、国会議員をなぜ目指す事になったのかについては、充実した看護の実感を看護師に味わってもらう為に議員になった事を話して下さり心に響く内容となりました。

竹迫先生は、認定看護師に至る経緯や認知症患者への関わり方などユーモアを交えてとても興味深い研修内容となりました。また、「寄り添う看護」「看護師は患者様の環境の一部」とあるという事に日々の患者への対応などを新たに考えさせられました。

シンポジウムでは、『みんなで一緒に語りましょう！10年後の私』という内容で、参加者がスマホの『クリカ』を活用して意見討論が行われました。マイクを用いての質問形式より参加者の意見が出しやすく、その内容に石田まさひろ議員や竹迫先生が答えて下さり、参加者が一体となり、よりよい研修になったと感じました。

とても斬新な試みでありましたが、今後も是非活用していけたらと思います。

(中村美由紀)

パールスループ フェア



～チェーンの種類3タイプ～
8.0-8.5mm花珠真珠使用
45cmスライドチェーン0.7φ

✦ プラチナ
✦ 18金イエローゴールド
✦ 18金ピンクゴールド

各100本限定価格

¥15,500 (税込)～

取扱商品

- アコヤ真珠
- ベビーパール
- 黒真珠
- 南洋真珠(白・ゴールド)

真珠の事ならなんでも
ご相談ください。

ネックレスの糸替え
クリーニングなど



イッシン iS パール (同)

〒862-0920

熊本市東区月出8丁目3-52

i Perna by イッシン

☎ 0120-32-2020

祝 安倍改造内閣で、 2人の看護職国会議員が副大臣に就任

阿部 俊子 衆議院議員が外務副大臣

高階 恵美子 参議院議員が厚生労働副大臣

10月4日本部電話中に大変喜ばしいニュースが飛び込んで来ました。

鹿児島県看護連盟会員一同 心からお祝い申し上げます。



研修案内

看護記録研修『看護記録のこれから』

聖路加国際大学 名誉教授

岩井 郁子 先生

日付 平成30年10月28日(日)

時間 10:00~16:00(受付9:00-)

場所 鹿児島市中央公民館

*参加の申し込み、詳細は連盟事務所までお問い合わせくださいませ

研修会『在宅×特定看護シンポジウム』

登壇者

畑中勇二 (訪問看護ステーションさくら)

花原洋 (鹿児島大学病院)

竹之内卓 (看護師特定行為研修センター)

永田真琴 (訪問看護ステーションことぶき)

他

日付 平成30年12月8日(土)

時間 14:30~16:45(受付14:00-)

場所 鹿児島県市町村自治会館

定員 60名

*登壇者は都合により変更になる場合がございます。詳細については県連盟HPからご確認くださいませ。



平成30年度看護連盟会員を募集しております。

正会員 看護職の方

日本看護連盟会費 5,000円

鹿児島県看護連盟会費 3,000円

合計 年間 8,000円

賛助会員

賛助会員年会費 1,000円

鹿児島県看護連盟の活動に賛同いただける方はどなたでも加入いただけます。

学生会員 年会費無料

看護師、保健師、助産師又は准看護師の資格を得るために学ぶ学生で、看護連盟の主旨に賛同していただける方

◆問い合わせ先

鹿児島県看護連盟事務所

〒892-0816 鹿児島市山下町9番31号

第一ボクエイビル203

電話 (099) 219-5334

FAX (099) 219-5336

Eメール: kago-kanren@po5.synapse.ne.jp

